



NO. 52

2001年 7月発行

## 2001年度東京ブランチ総会

2001年度ブランチ総会は、6月2日(土)13:30より渋谷区幡ヶ谷・渋谷区スポーツセンターにおいて開催され、40名が出席しました。

総会の概要は、以下のとおりです。詳細は、東京ブランチ会報No.18をご覧ください。

### 総会の成立

議事に入る前に、東京ブランチ規約VII4.「総会の成立定数は、会員の1/4 または25名の内、小なる方とする。」に基づき、出席者数の報告と総会が成立したこと及び東京ブランチ規約VII1.に基づき、チェアマンが議長を務めることを確認しました。

### 議事

質疑応答の後に、それぞれ承認されました。

2000年度事業報告 セクレタリ

2000年度決算報告 トレジャラー

2000年度会計監査報告 監査(前トレジャラー)

2001年度事業計画 セクレタリ

2001年度予算 トレジャラー

### その他

(1)東京ブランチのRepresentative

今年度もクレメント篤子さんをお願いする。

(2)東京ブランチ細則IVの変更(改正)

埼玉ブランチ設立に伴い、東京ブランチの活動領域(エリア)から埼玉県を削除する。

(3)本部の組織機構と会員制度の改編案について(説明)

Newsbriefの組織とOption1、2、3を元に説明。5/12本部ECでOption1が採択され、会費が15ポンドに値上げされるという提案があった。

(4) ブランチ・クラスのteacher と pianist の交通費について

関東エリアの一番遠い所までの交通費（費用）支給に賛成多数。

なお、予算（案）の説明の際に、予備費 203,714円のうち 500ポンド（約10万円）を本部に寄付したいという提案については、◎本部へ寄付をすることに関しては、賛成多数。◎寄付の方法については、もう少し考える。（当分、予備費のままにしておいて、寄付の募集等を含めて金額その他を煮詰めてから寄付することにしたい。チェアマン）ということで承認されました。

また、埼玉ブランチ設立に伴い、東京ブランチ細則IV「ブランチの活動領域」から埼玉県を削除する変更（改正）が承認されました。なお、埼玉ブランチ設立に伴う細則改正承認依頼を本部に届けて送りましたが、ChairmanとVice Chairman に相談するとの連絡がありました。細則の変更は、ソサエティの執行会議の承認を得た後に発効します。

## R S C D S の運営組織と会員制度の改革案について

はじめに

R S C D S のブランチ（支部）の一つが東京ブランチで、あなたはR S C D S（本部）の会員の1人です。そのR S C D Sで運営組織と会員制度が改変されようとしています。

これは、Strategic Plan（1999年～2004年）（注：ソサエティを立て直すための5年計画－1997年のAGMでGP（General Purposes Com. 総括委員会）が作成を要請されたもの）の中のObjective 10「運営」（ソサエティが、リーダーシップをもち、会員の要望に応え、効率的に機能するような、運営構造を確立することを目的とする）に関する条項を実行に移したものです。

I “Newsbrief March 2001”号(2-4ページ)より(5月のブランチ・クラスのお知らせとともに郵送済み) 概略

R S C D S の運営組織と会員制度 決定の時期

1923年にソサエティが設立された時には、ソサエティが現在のように国際的な組織にな

り、非常に多くのランチ及び会員をもつに至るとは予想もしなかった。EC (Executive Committee)がソサエティの最高執行機関として設置された時も、まだ、会員数が少なく、ECが全メンバーを代表することができた。しかし、ランチの数が増加して、ECの構成人数が100人以上になるほど大きくなると(組織図参照)、会議の回数(注; 現在年2回)は減り、やるべきことが実行に移されるまでの時間が長くなった。チャリティー法に関する新しい手続きの複雑さが、規約の改正、メンバーの定義やソサエティのランチに対する立場に変化を与えた。また、今、ソサエティの会員数は、さまざまな理由で減っている。理由は、メンバーでなくても踊れる機会がたくさんあること、メンバーの年齢構成が高くなっていること、会費の値上げ等である。

こういう事態を打開するために、ソサエティでは、新しい運営組織と会員制度を確立しようとしている。

新しい組織は、別紙のようなものである。(6ページ)

#### 利点

- 1) 運営委員会(現在のECに相当する)は小さくなるが、会議は多く開けるし、費用が削減できる。
- 2) 運営委員会と常設委員会の委員は、全会員の中から選出される。関与する会員が多くなる。
- 3) サブ委員会/作業委員会という組織に、より多くの会員が時間を割き、専門化して協力できる。

#### 欠点

- 1) BranchのRepresentativeが、運営委員会のメンバーに入らない場合がある。

GP(General Purposes Com. 総括委員会)で、会員制度について3つのOptionを準備した。EC(注; 2001.5.12)でそのどれが選ばれても、他に必要経費を軽減する方法(会員へのサービスを減らすことを含む)がない限り、かなりの額の会費の値上げは避けられない。

ソサエティを再活性化し、メンバーの責任と便益を再定義し、メンバーの希望に本当に応えることができる方法を変えるのに今が最適の時である。

#### Option 1 基本的に現状維持

- 1) 現在のように、ランチに会費を払い、ランチはHQに本部会費を支払う
- 2) ブック、プルティンその他の配布はランチ経由で配布
- 3) サマー・スクール他に参加できる

**Option 2** 会費を全員同一とし、全てのCommunicationをHQから直接送付する

会費がかなり上がることが予想される

- 1) 会員のデータベースが本部で作成される
- 2) データベースを維持し、投票制度を運用するために、年3ポンド必要。これに加えて必要な会費増額(年に1回の資料郵送費用を含む予定)
- 3) 全会員にブック、ブルティンその他を直接配布する

**Option 3** Full Member[FM]とLocal Member [LM]に分ける

- 1) FMへのブック、ブルティンその他の配布は本部から直接行う
- 2) FMは本部会費(多分20ポンド)とランチ年会費を支払う
- 3) LMへのブック、ブルティンその他の配布はランチ経由とし、そのやり方は各ランチに委せる
- 4) LMはランチ経由で、Annual Report & Account及びランチが提供するサービスを受ける

委員の推薦と選出、AGMへの動議提出などについて、Optionによって若干異なる。

II 上記について、5/1、5/5 2回にわたって東京ランチ運営委員会で話し合った。

結論は、現状のままでもいいが、どれかを選ぶならば、Option 1となった。理由は、

- 1) 選挙や動議提出については、Delegateを通じてある程度参画できる
- 2) 21,000人もの大組織になって、全ての人の参加などではできない
- 3) 国情、国民性、スコットランドからの距離などで本部とは考え方が違うと思うが、それは致し方ない
- 4) 多少の会費値上げは止むを得ない

以上の意見を東京ランチのRepresentative篤子クレメント氏に伝えた。

III 5/12 ECの投票の結果

1回目 1、2、3の順に、48人、21人、46人(115人)

2回目 1と3との決選投票 59人、55人で、Option 1をECとしてAGMに提案することになった。

ただし、Option 1でのSubscriptionは15ポンドと提案している。[注;この席上で始めて提案された]

これに対して、東京ランチとして意見があれば、AGM までに本部に意見を述べたり、具体策を提案することができる。

#### IV 東京ランチからの会費についての提案 (案)

1) 毎年又は2年毎に少しずつ値上げしていく。

例：10ポンド→12ポンド→15ポンドというように

2) ほしい情報量が人によって異なるので、会費を段階的に変える。

a) 会員A 年会費 例えば 8ポンド

Schoolに参加できる、Bookの送付をランチ経由で受ける、RSCDSの出版物他を買える(金額は据え置きだが、サービスは減る、事実上の値上げ)

b) 会員B 年会費 例えば 10～12ポンド

会員Aの権利+その他の資料(Bulletin, Newsbriefなど)の送付をランチ経由で受ける、選挙権、被選挙権をもつ、動議を提出できる。

V 東京ランチ総会(6/2)には、上記案を示したが、具体的な案は出なかったので、6月中意見を待つこととした。

VI 11月のソサエティのAGMに間に合うように、運営委員会から本部宛に要望書を送付する予定である。

1) 上記IVを運営委員会で更に検討したもの

2) 経費節約の方法

a) Examinerの派遣時の航空運賃は主催ランチが負担する。

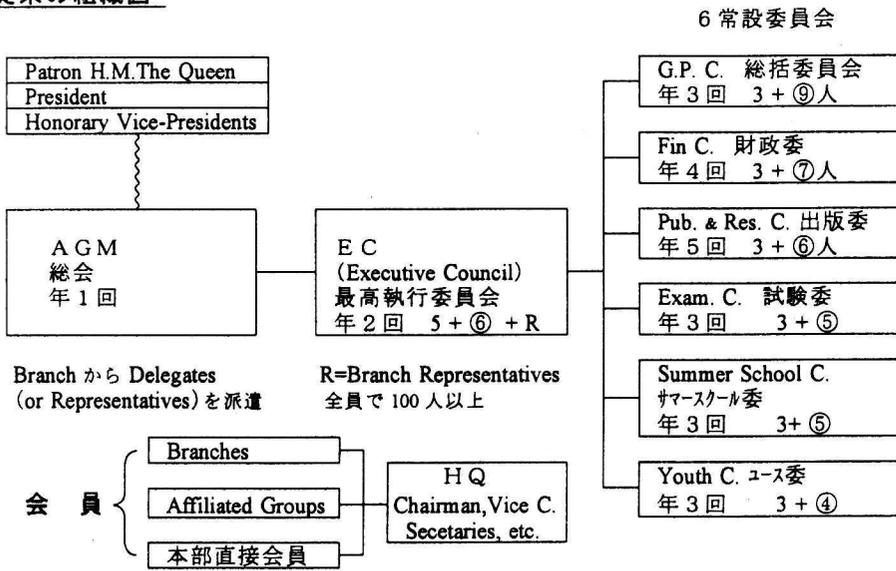
b) 資料(Bulletin、Bookなど)配布はランチが行ない、配布費用はランチで負担する。

c) 資格所有者の資格更新料を徴収する、など。

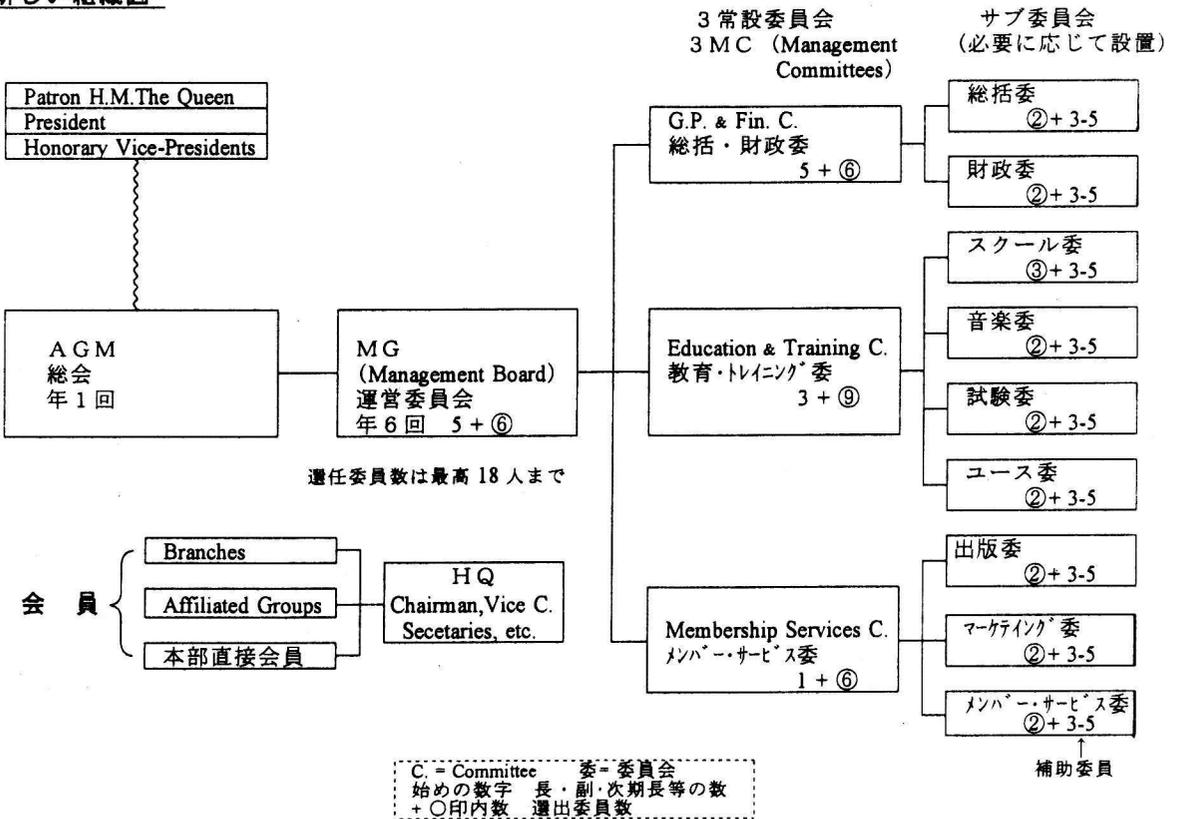
VII ただし、要望したからといって、要望通りになるとは限らない。11月のAGMには各ランチからいろいろな要望が送られ、それらと原案を合わせて審議・検討して、結論が出されるものと考えられる。

以 上

従来の組織図



新しい組織図



## Executive Council Meeting Report(10:30am-4:30pm) 12th May 2001

東京 brunch の Representative 篤子 クレメント さんからの報告です。

チェアマンの挨拶の後、8名の欠席が読み上げられ、2000年11月のEC議事録が承認された。

各委員会議事録の承認：

### 1. Summer School:

- 今年のサマースクールは、希望者不足のため、第1コースがTC、第2コースがPTのみの開催となる。
- 第2週に予定していたTutor's Courseも希望者不足のため、Teaching Skills Courseに変更され、春に人数が多すぎて参加できなかった希望者に出席優先権が与えられる。
- 午後にMusic Talk、Choreography Talkを予定している。
- 今まで1週間参加者と2週間参加者を別々のクラスに分けていたが、今年のサマースクールのクラスでは、クラスに両者をミックスさせる。
- 午後の1日、参加者が自由に出席、質問できるオープンフォーラムのような話し合いの場を予定している。
- 2002年のウインタースクールはPitlochryで、Anita MacKenzieがダイレクターの予定(参加費£260)。2003年は別の会場を予定。

### 2. Youth: Teaching Resource Pack £30 (CD, Video, Book)を制作中で、6月末には発売予定。

### 3. General Purposes:

- Society's Scroll of Honour: Elizabeth Catheart, Roy Goldring, Peter Knight, Dorothy Leurs, Grace Lofthouse, Jeanetta MacColl, Muriel More
- EC rep申請が遅れた場合(今年は9月22日)、本部から直接ECに必要なPapersは送付しないので、brunchセクレタリーが責任を持ってrepにPapersを送る。

### 4. Examinations:

- 2002年のサマースクール4週目に、Teaching Skills Course予定
- 委員会では試験後の試験官との面接フィードバックの中止を決定したが、多数の反対があり再検討される。
- チューターの改善上達を図る。
- 新しいExamination Syllabusが£3出版された。
- サマースクールでのDancing Proficiency TestのSyllabus申し込みは119あったが、

実際の申し込みは、第1コースが10人、第2コースが6人である。

#### 5. Finance:

- ドレス・ストラスペイ・タータン・サッシュ (ウール) £25、生地のみ1メートルにつき£25
- 保険は2001年12月までとする。
- 2002/3年度の年会費は£15とし (委員会からの提案でAGMで承認しない限り履行できない)、引き続き長期会員を中止する。

#### 6. Publications & Research:

- 今年のSubscription copyは、P/E 39-41
- P/E 13, Book3 が近日中に出版予定。
- Book23と24の改定が進行中、楽譜付きリーフレットダンスがBook形式で制作中。
- Book42 (サマースクール70周年記念) には、60のダンスが応募された。

#### ブランチ、アフリエイテッドグループ承認

- 埼玉ブランチ、ダービシャイア (Derbyshire North East) ブランチ
- North Esk Scottish Country Dance Group, Comhlan Group (Krakow), West Michigan Scottish Celildh Dancers, Soka Scottish Country Dance Club

Management & Membership: Option 1がECからAGMに提案されることに決定。

#### 埼玉ブランチがECで承認

埼玉ブランチが、EC (Executive Council) で承認されました。

埼玉ブランチについては、3月25日 (日)、埼玉県立スポーツ研修センターにおいて、設立準備委員会による埼玉ブランチ設立総会が開催され、諸準備が完了したことから、本部にブランチの承認申請を提出していましたが、5月12日のEC (Executive Council) で承認されました。なお、埼玉ブランチの会員数は、現在、291名です。

また、ECにおいて、Affiliated Groupとして草加 (埼玉県) が承認されました。

#### ブランチクラスにElma L MacCauslandさん

Elma L MacCauslandさんご夫妻が、5月5日のブランチクラス (アドヴァンス・クラス 特別講習) と5月7日のティーチング・スキル (ティーチャー及びプレリムを対象にした 特別講習) で指導してくださいました。Elma L MacCauslandさんご夫妻は、浦和スコティ

ッシュ・カントリー・ダンス・グループの25周年パーティに招待されていたものです。帰国後、Elma L MacCauslandさんから東京ランチあてにお礼の手紙が届きました。

It was lovely to the Tokyo Branch Class again and would thank them for welcoming us back. It was very encouraging too have so many teachers interested in the Skills Class and a pleasure for me to meet so many of last year's candidates again.

東京ランチクラスでまた教えることができて楽しかったです。歓迎していただきありがとうございました。スキル・クラスでは、あんなにたくさんのティーチャーが参加してくれて、やる気が出ました。去年のキャンディデートに再会できたのも嬉しいことでした。

### 浦和スコティッシュが25周年 (Silver Jubilee)

浦和スコティッシュ・カントリー・ダンス・グループの25周年パーティが、去る5月6日、浦和市文化センターにおいて、160名が参加して行われました。25周年には、Elma L MacCauslandさんご夫妻が招待されました。

また、浦和スコティッシュ・カントリー・ダンス・グループは、5月18日、長野県で開催された日本フォークダンス連盟45周年記念 全日本フォークダンス大会において、優良団体として表彰されました。

### ランチクラスについてのお知らせ

6月18日付で、7月のランチクラスのお知らせを会員全員に送付しましたが、次回から、ランチ・クラスのお知らせは、エリア内の会員及びSCDサークルにお送りいたします。エリア外の会員でお知らせをご希望の方はセクレタリまでご連絡ください。

### 訃報

成田美津子さん（埼玉県草加市）（2000年度会員登録）

4月6日にご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 告知板

### ◎大和スコティッシュカントリーダンスクラブ

#### 創立15周年サマーボール

今年は、アコーディオン奏者 Fed Moyes氏を迎えてのボールです。生の音楽でスコティッシュダンスを堪能して見ませんか…

日 時 7月22日(日) 午前11時より

会 場 茅ヶ崎コミュニティーホール

JR茅ヶ崎駅下車徒歩8分

会 費 6,000円(昼食を含む)

問合わせ 大和SCDC事務局 TEL. 0466-44-3537(梶野)

### ◎アイリスSCDG

#### 15周年記念BALL

日 時 9月16日(日) AM11時~PM4時

会 場 坂戸市勝呂公民館

問合わせ TEL. 0492-81-6427(渡辺)

#### RSCDS東京ランチレター

No. 52

2001.7.10

編集責任者: 佐藤雅紀

336-0015 さいたま市太田窪 2000

TEL. FAX: 048-885-1894

発 行: RSCDS東京ランチ

吉澤敦子

300-0841 土浦市中 1319-11

TEL. FAX: 0298-41-0767

E-mail: st6a-yszw@asahi-net.or.jp